

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>




金沢八景キャンパス 広報課 広報担当 (100周年担当)

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> <li>ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>会議等に限らず、MTGや打合せ等でも画面共有やモニターを活用し、極力紙を使用しない努力をするとともにメールやTeamsでの資料確認・決裁も活用する。また、紙を使用する場合にも裏紙を活用するなど、使用枚数を削減を行う。</p>	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトルの利用。</li> <li>丁寧に物を扱い、長く使用する。</li> <li>購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。</li> <li>壊れたものはできる限り修理して再利用する。</li> <li>YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。</li> <li>廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>職員一人一人が分別やごみ削減等3Rを意識するべく、MTG等で適宜声掛けを行う。また、紙の廃棄に関しては、再利用を意識し、原則としてシュレッダーを環境整備チームに依頼する。</p>	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>カタログ又は見積先に確認</li> <li>見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>原則としてグリーン購入の適合品を購入し、適合品がない場合にも適合品への転換等を検討する。</p>	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践</li> <li>冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。</li> <li>教室、部屋の不在時消灯</li> <li>エレベーター使用時は2UP 3DOWN</li> <li>照明のLED化</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <p>原則として、電気を使用しない執務室の温度管理を行い、空調を使用する場合でも、扇風機等も活用した適切な室内温度管理を行う。</p>	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議資料および印刷物の制作	大学案内等の各種広報物の校正作業による紙の削減及び制作冊子の印刷部数の適正数での発行を行う。広報委員会や周年事業関係の会議においても、昨年度に引き続き、画面共有当を活用し、紙資源の増加を防ぐ。	校正作業時の印刷部数を最小限にするとともにデジタル媒体等も活用し極力印刷する部数を減らす。会議の事前資料確認や事前説明、会議当日など、遠隔的な開催方法などと併せて紙による確認、配布数を減らす。課内や担当内での打ち合わせにおいても、画面共有などを活用し、印刷資料の配付数を減らす。	12.2 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 広報課卒業生・基金担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用  <b>【各取組み】</b> ・会議等に限らず、MTGや打合せ等でも極力紙を使用しない努力をするとともにメール決裁も活用する。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取組み】</b> ・職員一人一人が分別を意識するべく、MTG等で適宜声掛けを行う。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組み】</b> ・グリーン購入の適合品を意識し、優先的に購入する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。  国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取組み】</b> ・エアコンによらない、扇風機等も活用した適切な室内温度管理を行う。 ・移動の際は、原則公共交通機関を利用する。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
印刷物の制作	校正作業による紙の削減及び制作冊子の印刷部数削減	<b>【各取組み】</b> ・校正作業時の印刷部数を最小限にするとともにデジタル媒体等も活用し極力印刷する部数を減らす。	12.2 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス グローバル推進室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・室内の情報共有時はメール添付で行う ・Zoom会議を積極的に活用し、資料はPC上から閲覧できるようにする。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。 (Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・各自で極力ごみが出ない取組を行うとともに、事務用品で再利用出来るものは再利用をする。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・消耗品、備品類発注の際は、環境に配慮したグリーン購入適合品有無を確認の上、課内での購入手続きを行う。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・空調使用時は窓を閉め、ブラインドを使用するとともに、風量を弱にするなど節電を心掛ける。 ・窓を開けてこまめな換気を行う。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
オンライン留学及び留学にかかる経済的支援の整備	・渡航せずに授業を自宅から受講出来る教育の機会を与える。 ・経済的理由から留学が困難な学生へ留学機会を促進する。	・質が担保され、経済的な負担を軽減したオンライン留学プログラムを提供する。 ・100周年プロジェクト基金を活用し、経済的な理由から留学が困難な学生に向け、審査の上奨学金を支給するプログラムを構築する。	4.3 	
留学生受入	JICA等機関と連携し、日本で研究を希望する学生に教育の機会を与える。	・JICAプログラムを通じてアジア・アフリカ等からの留学生を受け入れる。	4.3 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷</li> <li>会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用</li> <li>ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明(会議)資料を簡潔にする。</li> <li>全ての複写機にコピー用紙削減(単価等記入)のポスター掲示を行い啓発を促す。また、購入量についても各課にフィードバックを行い意識してもらう。</li> <li>打ち合わせでも、資料を印刷せず、メール等で資料を共有し、各自PCを持ち込む。</li> <li>各部署に、zoom等Web会議の積極的な利用を働きかける。</li> </ul>	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マイバッグ、マイボトルの利用。</li> <li>丁寧に物を扱い、長く使用する。</li> <li>購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。</li> <li>壊れたものはできる限り修理して再利用する。</li> <li>YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。</li> <li>廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3Rから5Rへ意識を向ける。</li> <li>①Refuse (リフューズ) 断る</li> <li>②Reduce (リデュース) 発生抑制</li> <li>③Reuse (リユース) 再利用</li> <li>④Repair (リペア) 修理</li> <li>⑤Recycle (リサイクル) 再生利用</li> </ul>	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理研修にて職員への啓発</li> <li>カタログ又は見積先に確認</li> <li>見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼</li> <li>先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。</li> <li>定例裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全職員にグリーン購入について知ってもらう啓発チラシを作成する。</li> </ul>	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<p>【必須取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践</li> <li>冷房期温度28℃、暖房期を19℃</li> <li>暖房用電気ヒーターの禁止</li> <li>季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。</li> <li>教室、部屋の不在時消灯</li> <li>エレベーター使用時は2UP 3DOWN</li> <li>照明のLED化</li> </ul> <p>【各取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>始業前、昼休憩時などの業務時間外は消灯を徹底する。</li> <li>打ち合わせ等退席時のPC電源オフ</li> <li>エアコン使用時の扇風機の併用</li> </ul>	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
備品・物品管理	各所管で不要となった物品は、再利用するなど、物品の購入を必要最低限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>安易に物を購入せず、再利用物品の積極的な活用を推進する。</li> </ul>	12.2 	
会議の運営	会議の運営に係る電力の消費や、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議室は極力同じ部屋を連続して使用(できるだけ執務室を使用)する</li> <li>ノートPC、タブレットの使用</li> <li>紙配付資料の削減</li> </ul>	7.1 12.2  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取組】</b> ・資料の事前送付により、打ち合わせ、会議等の紙配布資料を削減する。 ・資料共有については、ZOOMの画面共有機能を活用する。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YU-netの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取組】</b> ・使い捨て商品はなるべく使わない。 ・商品購入時は、再生品やエコマークをチェックする。 ・物品が必要な時に、今あるもので代用できるものがないか検討する。 ・再利用コーナーを活用する等して、不要品を有効活用する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・購入担当者がグリーン製品であることを確認、検討して購入する。 ・リサイクル製品の購入も検討する。 ・不要となった場合は、可能な限りリユース、リサイクルし、廃棄せざるを得ないものは適切に処分する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取組】</b> ・OA機器や照明等をこまめにスイッチオフする。 ・季節や室温に合わせた服装をする。 ・扇風機の効率的な使用により、エアコン使用を抑える。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
各申請書等の電子化検討	YU-net・文書管理システムの申請書を紙からオンライン化できるよう、手法検討を進める。	R3年度に引き続き、各課と連携し、紙で運用されている申請書等の電子化を行い、紙資源の無駄を削減できるよう、手法を検討する。	12 	
新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策	R3年度に引き続き、法人内への注意喚起や対応方針の発出等を行い、感染症拡大防止に係る対応を実施。	3.8 	
研修および啓発活動の環境配慮実践	研修および啓発活動のオンライン化徹底	・eラーニングシステム、動画教材の活用 ・紙資源(パンフレット等)は必要最小限、使用した場合は必ず100%リサイクルを実施。	12.2 	
働きがいのある職場づくり	ICTの活用により「風通しの良い、働きやすい」職場の実現を図る	・Teams等コミュニケーションツールの積極的な活用による職場コミュニケーション活性化。 ・テレワーク、フレックスの活用によるワークライフバランスの推進	17.17 	
工事	地球温暖化ガスの排出削減 工事において、建設機械は国土交通省が認定した排出ガス対策型を100%使用する。	・工事施工者に対して、建設機械については排出ガス対策型を使用することを依頼する。 ・建設機械の現場搬入時に、排出ガス対策型であることを確認する。	12.2 	
修繕、改修	環境への配慮を明確に伝える。	・グリーン購入適合品の使用を仕様書に明記し、工事実施時点で適合状況を確認する。	12.2 12.5 15.1  	
施設の長寿命化	施設の点検等により必要な箇所に対応する。	・建築物の劣化において、早期に修繕対応することで、大規模な修繕とならないようにする。	12.2 	
屋外清掃	委託先において、廃棄物の再利用を行う。	・不要になったものを積極的に再利用する。	12.5 	
エネルギーの節約	全キャンパス合計で、エネルギー使用量を3年間で、1%削減する。	・教室、部屋の不在時消灯 ・省エネ機器の導入 ・老朽化設備の更新 ・照明のLED化 ・掲示物の更新をし、再度啓発を行う。	7.3 12.2  	
スクラバー実験排水	敷地外に漏洩させない。	・日常点検、教員への啓発・周知を行う。	14.1、14.2、6.3、12.4、12.5   	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス ICT推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> 委託業者との打合せは基本的にZoomを使って行い。対面の場合にも、電子ファイルの事前送付を心がけ、紙資料の持参などは避けることを依頼する。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> 不要になったPC・ディスプレイ・ケーブル類でまだ使えそうなものがある場合、パーツ交換等でメンテナンスして別用途にて再利用する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> 消耗品は必ずグリーン購入適合品を選ぶ	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> PCを一定時間操作しなかった場合にディスプレイの電源を切る設定にする	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
未使用旧式PCのカスタマイズ再利用	有効活用されていない旧式PC27台を再利用する。	HDDのため動作が重く、有効活用されていない教育推進課所有のPC27台をICT推進担当で引き取った後、SSD換装して払出し用PCとして再利用する。	12.2 	
PC・タブレットのリサイクル	廃棄対象のPC・タブレットの一部をリサイクルに回す。	バッテリーやHDD/SSDの取り出しができず、大学でのデータ漏洩防止措置(消去・物理破壊)が困難な端末について、業者委託によるデータ消去を行った上で、リサイクルに回す。	12.2 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・コピー用紙使用量について、コピー機の前に今年度の目標値と前月の使用枚数の周知を図り、意識づけを行う ・委員会や会議での紙の資料を減らすため、貸出用のPCを6台購入する	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・環境整備チームでのシュレッダー業務の周知と拡大	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・課内での周知徹底 ・適かつ安価な商品を購入するために、グリーン購入に関して常に積極的な情報収集を行う	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・サーキュレーターを活用 ・ブラインドを降ろし直射日光を遮断(夏季)	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
育児・介護制度の利用促進	教職員が育児・介護制度を利用しやすい職場環境を整える	・「男性教職員の3日から8日の出産・育児に係る有給休暇」の対象職員全取得を目指し、各職場で管理職からの周知が徹底されるよう働きかける ・介護制度について周知を徹底する	5.4 8.5  	
働き方の見直し	超過勤務の縮減や休暇制度の利用促進により誰もが働きやすい職場環境を整える。	・在宅型テレワークによる柔軟な働き方の更なる促進・継続 ・出退勤管理システムで休暇の計画的な取得の呼びかけ	4.4 8.5  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教育推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・会議資料のデータ配信、配布物資料の持参及び回覧により印刷の削減を図る	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。 (Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、縮減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・文具、備品等の積極的な再利用・活用	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・整理整頓を行い、物品の重複購入を控える	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・離席時のモニターの電源off、パソコン、コピー機の待機時省電力機能の設定 ・ブラインドの効果的利用	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
啓発への協力	海洋都市横浜うみ協議会での活動を通じ、海における環境保護活動に協力する。	<b>【各取り組み】</b> ・海洋環境問題に関する講座開催、行事参画	4.7 14.3  	
教育・啓発	授業におけるSDGsとの関連の可視化を行う。	<b>【各取り組み】</b> ・授業計画(シラバス)に授業内容と関連するSDGs項目を掲載	4.4 8.8 10.2   	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				



様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>


金沢八景キャンパス 学生支援課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取組】</b> ・課内での情報共有は、メールの添付資料等で行う。 ・カラーコピーは原則禁止。グラフ等を活用する場合は、白黒でも見やすい資料作りを行う。 ・裏紙を積極的に利用する。 ・課内ミーティングではZoomを使用している。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取組】</b> ・個々人で廃棄物の分別を徹底する。 ・他部署で発生した不要備品等の再利用を進める。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適用品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取組】</b> ・グリーン購入の徹底を図る。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取組】</b> ・こまめに冷暖房等の運転・停止、廊下の消灯等を行う。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
学生への啓発・指導	環境に配慮した取組・行動を学生へ啓発・指導する。	・環境に関する情報について、SNS等を活用し、学生へ周知・啓発を行う。 ・施設利用後、速やかに照明の消灯、空調の停止等を行うよう、節電への取組を学生に対し指導する。 ・環境に配慮した取組を行う企業情報について、キャリア支援センターの書籍等の貸出、雑誌新聞等の閲覧機会の提供により、学生へ啓発を行う。	7.3 12.2 4.3   	
学生と連携したSDGsの取組	学生と連携し、学内の更なる環境向上を図るとともに、SDGsの必要性を広めるため、学食におけるサステナブル・シーフードの活動を継続的に支援する。	・学内の課題(放置自転車等)解決に向けて取り組む環境向上プロジェクト委員会の学生に対し、学内環境の更なる向上が図れるようサポートする。 ・学生団体が企画し、実現した学食におけるサステナブル・シーフードの活動について、令和4年度の安定的な実施と令和5年度に向けた更新手続き等をサポートする。	12.8 14 17   	
学生への食の支援及びフードロス削減の取組	生活が厳しい学生に対し、食の支援を行うとともに、フードロスの削減を併せて推進する。	・関係機関・団体と連携し、生活が厳しい自宅外生等の学生に対して、食料品を配布する。また、食の支援を推進することにより、フードロスの削減を併せて進める。	1.5 2.1 12.3 12.5 17    	
海洋問題への取組	「海洋ゴミ問題」を理解し、ゴミ拾いを行う。	・事前に「海洋ゴミ問題」についてのワークにより理解を深めた後、野島海岸のゴミ清掃ボランティアを行う。	14 17  	
海洋問題への取組	コンタクトレンズのケース(プリスター)を回収し、海洋プラスチック問題の解決の一端とする。	・株式会社シード「BLUE SEED PROJECT」と連携し、コンタクトレンズのケース(プリスター)を回収する企画を地域貢献担当と協働で行う。	12 14 17   	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス アドミッション課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・裏紙の使用について課内で積極的に声掛けを行う。 ・進学相談会で使用する相談者カードをFormsでの管理とし、データ化を図る。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・封筒、ダンボールやクリアファイル等を繰り返し使用することで、廃棄物を削減する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・物品購入の際に、適合品で代替商品があるかを必ず確認する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・テレワークや残業時間を削減することで執務室の電力消費量を削減する。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
リサイクルによるゴミの削減	無駄な購入を避けることと、物を有効活用することでゴミの発生を抑える。	・物品購入の際に、必要数以上に物品を購入しないように、物品の在庫数を必ず確認し最後まで大切に使い切るよう意識づける。 ・封筒やクリアファイル、段ボール等の再利用に取り組む。	12.2 	
会議等のオンライン化を促進する	広報活動や会議において、SNSやZoom等を用いて、効率化を図る。	・オンラインでの会議の開催を継続することや、テレワークを積極的に行うことで、移動に伴うエネルギー消費を削減する。	7.3 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 保健管理課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・コピー機背面の壁に月別使用枚数を掲示し、視覚化により枚数削減意識を高める。 ・目標値を超過しそうな場合は、朝礼・課内ミーティング等で周知する。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・文房具等の消耗品在庫の定期的な整理整頓を実施し、適正量を管理する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・グリーン購入について、引き続き課員への周知をミーティング等で徹底する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・感染症拡大防止のため定期的な換気を実施しつつ、効果的に冷暖房を使用する。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
薬品在庫管理	保健室内の薬品の在庫を定期的に把握し、適量を管理する。	・薬品の漏えい、排水による汚染を起こさない。	14.1 	
受動喫煙防止	キャンパス内敷地内全面禁煙は周知徹底されているが、啓発等を継続する。	・保健管理センターニュースや関連ポスター等の掲示による情報発信(世界禁煙デー等)を行う。 ・学内の各種会議・委員会で周知する。	3.a 11.6  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 学術情報課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・会議のオンライン実施を促進し、昨年度に引き続き、資料のペーパーレス化に取り組む。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・受入れ不要と判断した資料について、適時古本募金、古本売却等行い資源の利活用へつなげる。 ・館内のスペースを有効に使用するため、修理不可な備品等について速やかに処分する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・グリーン適合の有無について、定例決裁簿の同時に都度確認。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・窓開け、扇風機での温度調整の促進。 ・図書館内及び館外実習室の照明の節電実施。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
SDGsの取組	昨年度に引き続き、SDGs周知に関する取組み、環境問題に配慮した事務作業の見直しを行い、社会問題の解決に取り組む。	・他部署のSDGsに関する取組みを図書館からSNSや図書館だよりを使って発信する。 ・ひとりひとりが日常生活においてできる身近なSDGsへの取組みを調査し、利用者への情報提供する。	4.7 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 研究・産学連携推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・書類からデータによる文書保管の推進 ・配付済み資料の持参 ・紙配付資料の削減 ・コピー機前に月別使用枚数を掲示し、視覚化により枚数削減意識を高める。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・廃棄物マニュアルの周知と利用推進 ・分別の徹底 ・不要備品の再利用(机、棚等)	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌(扇風機)機の併用 ・離席中におけるPCの省電力状態の徹底	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議の運営	新型コロナウイルス感染症対策及び移動時間の有効活用等を推進するため、各種会議については、Web会議・メール会議を積極的に取り入れるとともに、対面会議においても、PCやプロジェクター等を活用することにより、コピー用紙の削減を図る。	・Web会議・メール会議の積極的な導入 ・PC、プロジェクター等の活用 ・紙配付資料の削減	7.1 12.2  	
働き方改革の実施	新型コロナウイルス感染症対策等によって促進された環境整備と取り組みを進化させ、更なる教職員の柔軟な働き方につなげる。	・テレワークや時差出勤の推進 ・休暇取得の促進	8.5 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

八景キャンパス 研究基盤課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・電子媒体での資料確認を積極的に推進する ・回覧の活用 ・eラーニングによる説明会の実施	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・廃棄物マニュアルの周知と利用推進 ・不要備品の再利用(机、棚等) ・再利用物品コーナーでの活用	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・ブラインドの使用 ・空気攪拌(扇風機)機の併用 ・離席中におけるPCの省電力状態の徹底	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
会議の運営	各種会議の運営をTV会議、PC、プロジェクターを活用し効率的に行うことで、コピー用紙の使用を最小限に抑える。	・PC、プロジェクターの活用 ・紙配付資料の削減 ・WEB会議(Zoom、Teams)の活用	7.1 12.2  	
研究環境の整備	研究棟のコピー機利用状況を把握し、経費削減に努めるよう教員へ周知する。退職教員の研究機器、資料等の廃棄を行い、研究環境の整備を行う。	・研究棟コピー機の消耗品(用紙)は在庫を定期的に確認し、必要数を発注することで経費削減に努める ・研究棟の不要機器や資料の整理・廃棄を進める	9.1, 9.4 12.2, 12.5, 12.7  	
働き方改革の実施	研究費執行に係る事務の効率化を図ることで、教員の研究時間を確保し、研究支援基盤の充実を図る。	・必要書類やフローの見直し ・システム導入検討	7.3 8.3  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教員

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・講義、演習用教材はYCU-Board、会議資料はTeamsのファイル機能などを使用し、更なるペーパーレス化を行う。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・レジ袋やプラスチックスプーン、割りばしの利用を控える	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・国際総合科学群教員会議でグリーン購入を推奨する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP 3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・研究室、研究棟内の廊下、トイレのこまめな節電	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
環境政策に関する研究への取り組み	本学の環境管理にも役立つ研究は、積極的に公開する。	・論文発表、Researchmap等で公表。	6.1・6.3 7.2・7.3・7.6 13.1・13.6 14.1・14.2 15.1~15.7     	
海洋環境に関する研究への取り組み	研究成果を公開し、本学の海洋環境への取り組み姿勢を示す。	・論文発表、Researchmap等で公表。	13.1・13.6 14.1・14.2  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				

様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教育推進課 鶴見キャンパス担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・印刷時の必要性の再確認を徹底 ・会議のオンライン化による紙配布資料の廃止 ・情報共有にはメールを積極的に活用	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持ってもらうため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用 ・丁寧に物を扱い、長く使用する ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う ・壊れたものはできる限り修理して再利用する ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・再利用物品コーナーの活用 ・不要物品のキャンパス内での再利用促進 ・耐用年数の長い新規設備の購入	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック <b>【各取り組み】</b> ・市大・理研共催の一般公開イベント時、グリーン購入調達率100%を目指す	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・退室時の空調の消し忘れ防止の啓発 ・老朽化した機器の更新による省電力化	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
教育・啓発	廃棄物・電力使用量等の積極的な削減に取り組むよう啓発をする。	<b>【各取り組み】</b> ・教育・研究活動を通じて、ごみの分別・節電等について啓発を行う ・キャンパス内でメールなどを活用し、定期的に周知を行う	7.3 	
施設管理・修繕等	環境に対する負荷の削減 工事等において環境に対する配慮ができていくようにする。	<b>【各取り組み】</b> ・仕様書に盛り込むとともに業者へ指導する ・工事期間の可能な範囲での短縮により、トラックの使用頻度の削減を目指す	14.1 15.1  	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				



様式1 (第8条関係)

<環境管理システム 令和4年度 目標設定・振り返りシート>

金沢八景キャンパス 教育推進課 舞岡キャンパス担当

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
省資源の取り組み	コピー用紙の使用量について、令和3年度実績以下を目標とする。	<b>【必須取組】</b> ・両面N-up印刷又は裏紙でN-up印刷 ・会議や打合せはタブレット、プロジェクター、ノートパソコンを使用 ・ZOOM・ビデオ会議の積極的な活用 <b>【各取り組み】</b> ・担当内の資料共有はデータで行う。 ・印刷の必要性の再確認を徹底するよう、担当内ミーティング等で啓発する。	12.2 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	3Rから5Rの取り組みへ。(Reduce, Reuse, Recycle, Refuse, Repair) 5Rの意識を継続的に持つため、削減した分別ボックス数を継続し、廃棄物と資源化物の総量が令和元年度実績を超えないようにする。	<b>【必須取組】</b> ・マイバッグ、マイボトルの利用。 ・丁寧に物を扱い、長く使用する。 ・購入するときは必要性を十分検討し、計画的に行う。 ・壊れたものはできる限り修理して再利用する。 ・YCUnetの再利用物品コーナーを積極的に活用する。 ・廃棄物マニュアルに沿った正しいごみの分別をする。 <b>【各取り組み】</b> ・事務室及び各研究室で生じた不要備品の再利用を行う。 ・分別方法について所内周知を行い、廃棄物の分別を徹底する。	12.2 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	消耗品、備品についてはグリーン購入100%を目指す。	<b>【必須取組】</b> ・環境管理研修にて職員への啓発 ・カタログ又は見積先に確認 ・見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼 ・先方の書式で記入ができない場合は自ら確認して記入。 ・定例決裁簿等を通じ、各職場の責任者がチェック。 <b>【各取り組み】</b> ・消耗品、備品以外の購入においても、環境配慮物品の調達を心がける ・グリーン購入について定例決裁時に都度確認し、適合品を意識する。	12.2 12.7 	
省エネルギーの取り組み	過去5年間の平均電力使用量より1%削減する(令和2年度実績値を除く)。鶴見キャンパス、舞岡キャンパスは令和元年度実績以下とする。 国の目標である「排出される温室効果ガスを2030年度において、2013年度から46%削減」を達成するための取り組みの啓発に努める。	<b>【必須取組】</b> ・全教職員が省エネを意識したワークスタイルの実践 ・冷房期温度28℃、暖房期を19℃ ・暖房用電気ヒーターの禁止 ・季節に合わせて快適に業務を行える服装を推奨する。 ・教室、部屋の不在時消灯 ・エレベーター使用時は2UP3DOWN ・照明のLED化 <b>【各取り組み】</b> ・ブラインド使用による、所内温度上昇の防止(夏季) ・空調と扇風機の併用。	7.3 12.2  	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット	振り返り
啓発	研究所広報・地域貢献活動を通じ、木原生物学研究所の研究内容・取り組みを発信することで、気候変動、環境保護に係る啓発を行う。	・研究所ウェブサイトのコンテンツ整備・充実 ・SNSや情報誌等のメディアを通じた自治体等外部との連携。	4.4 13.3 17.17   	
キャンパスの管理運営	・電気、ガス、水道使用量の削減に積極的に取り組む。	・電気、ガス、水道使用状況を月次単位で確認し、分析を行う。 ・掲示、メール等により定期的に周知を行い、教育・研究活動において、電気、ガス、水道使用削減に取り組む。 ・老朽化した設備を更新し、省エネ化を図る。	7.3 	
次年度の課題				
環境活動者の取り組み評価				